



子育て情報誌 令和6年3月号

実のなる木

北区立西ヶ原東保育園
指定管理者社会福祉法人東萌会
北区西ヶ原 3-19-11

TEL 03-3918-8251
FAX 03-3918-8259



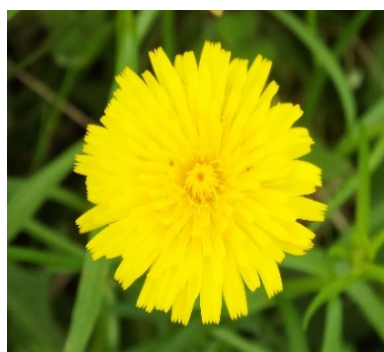
寒さの中にも少しずつ暖かい日差しが感じられるようになりました。春は過ごしやすく、気持ちのいい気候になっていくものですが、環境の変化の多い時期でもあります。保育園でも、進級に伴って保育室が変わったり、担任が変わったり、初めて会う人が増えたりと、普段は元気いっぱいな子どもであってもそういった変化に戸惑い、気持ちが不安定になってしまうこともあるかと思えます。西ヶ原東保育園としましても、子ども達の気持ちに寄り添い、楽しい毎日を過ごせるように子育て支援をしてみたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

☆身近な自然に触れよう

冬が終わり、春になり、土の中で眠っていた植物や生き物も顔を出してきます。寒さもやわらいできた外でお子様と一緒に探索遊びなどいかがでしょうか？家の近くの公園や広場、道端にも意外とたくさんの植物が生えています。大人にとっては慣れてしまったものでも、子ども達にとって季節の変わり目は新鮮な感動と発見が味わえるものです。たくさんの『気づき』の機会を作ってあげること、自分の身近な環境に興味を持ち、いつもの散歩道が素敵に見えてくるかもしれません。今回は比較的都会でも見つけやすい植物をご紹介します。

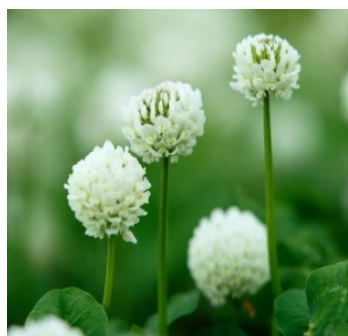


春によく見られる植物



『タンポポ』

西洋タンポポと日本タンポポがありますが、8割以上が西洋タンポポかその雑種。外来種は繁殖力が強く、コンクリートの隙間に生えていることも。明るくなると花が開き、夜と雨の時は閉じています。



『シロツメクサ』

別名クローバー。花が咲くのは5～8月にかけてなのでまだ少し遅いですが、クローバーの葉っぱ探しは今の時期からでもできます。花が咲いたらむすんで指輪や花冠にして楽しめます。



『ナズナ』

春の七草のひとつ。軸から伸びたハート型の実が三味線のばちに似ていることから『ペンペン草』とも呼ばれています。実と軸をつないでいる細い茎の部分が外れないように少しはがして、指をこするようになズナを回すと「バンバン」と優しい音を鳴らす遊びができます。



『キュウリグサ』

花の大きさは2mm程、全体の高さは10～30cm程のかなり小さい花です。花はあわい紫色で、花弁は5つに裂けています。葉っぱや茎をもむとキュウリに似たにおいがすることからこの名前が付けられました。身近に生えているのに小さくて見逃しているかもしれません。